

# センサ情報収集システム Beeシリーズ 機能の線引き



## Beeセンサ・ステーション

計測項目(センサ数) / 1台あたり  
温湿度4個、土壌センサ、日射センサ各1

土壌センサ



日射センサ



気象観測装置

計測項目

風向風速・温湿度・雨量・気圧、  
日射・UVセンサはオプション



屋外

屋外

インターネット接続

Mail通知の対象は  
温度監視のみ

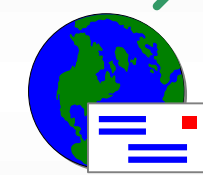
LAN接続

Mail通知の対象は  
全てのセンサが対象  
またデータベース機能/  
グラフ表示機能を有します

## Beeベース・ステーション

USBメモリによるデータの移動 → PCがベース・ステーションの側になくても  
データ管理が可能です

- PC-1 園地、または自宅に設置  
専用のプログラムを実行し、インターネットに接続します
- PC-2 ブラウザだけで専用プログラムと同じ以上の管理が可能です  
PCに限らず、携帯電話を含む携帯端末が使用できる可能性があります  
(インターネット・ブラウジングの機能だけでOK)



インターネット

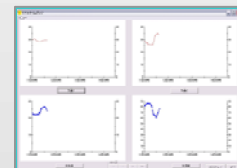
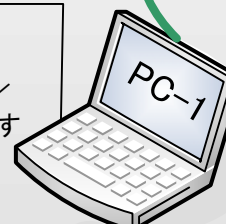
ASPサーバー  
アプリケーション  
『温稼報』

異常通知  
レポートなど

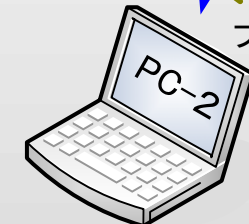


自宅外

アプリケーション  
『SensorMail & Graph』



ブラウザ



## Beeeセンサ・ステーション

ソーラー電池(オプション)の使用で  
商用電源は必須ではありません

屋外

気象観測装置  
センサに必要な電源は、  
信号線に重畳して送られます

屋外

Mail通知の対象は  
温度のみ

インターネット接続

## Beeeベース・ステーション

LAN接続

USBメモリによるデータの移動 → PCがベース・ステーションの側になくても  
データ管理が可能です

PC-1は、園地または自宅に設置

Beeeセンサ・ステーションからの電波状態、インターネット接続環境の  
有無、Beeeベース・ステーション ~ PC間のネットワーク接続の不可  
可など、現地の環境により、使い方が決まってくる(制限される)ケース  
があります

Beeeベース・ステーションを直接ブラウザでアクセスすることで、現在の  
計測値、過去7日間の計測値の変化をグラフで確認することが出来  
ます。(Excelが入ったPCだと記録データを直接見ることが出来ます)  
また計測データを、ダウンロードしてPCに取り込むことが出来ます。

リアルタイムの管理を要求しなければ、USBメモリを使用してデータの  
移動を容易に行うことができ、PC側ではExcelでこのデータが利用でき  
ます(園地にPCを持ち込む必要がありません)

PC-1 園地、または自宅に設置

専用のプログラムを実行し、インターネットに接続します

Mail通知機能、データベース・グラフ機能  
データ管理だけを目的にするなら、インターネット環境も、専用の  
プログラムも不要で、例えばExcelがあればそれでOKです

PC-2 ブラウザだけで専用プログラムと同等以上の管理が可能です

ASPサービスを利用します(有償サービス)  
PCに限らず、携帯電話を含む携帯端末が使用できる可能性が  
あります(インターネット・ブラウジングの機能だけでOK)



インターネット

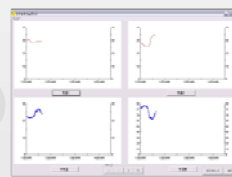
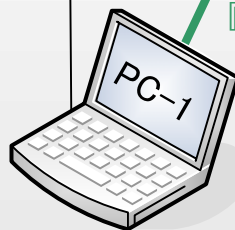


異常通知  
レポートなど

ASPサーバー  
アプリケーション  
『温稼報』



アプリケーション  
『SensorMail & Graph』



Mail通知の対象は  
全てのセンサ  
またデータベース機能/  
グラフ表示機能を有します

自宅外

ブラウザ

PC-2には、専用プログラムは  
必要ありません

ASPサービスを利用します  
インターネット・ブラウジング可  
能な装置であれば使用できます

